

京都学・歴彩館 海外若手研究員による府民向けセミナー 「海外における日本研究の新地平」(開催報告)

2020年2月21日
京都学・歴彩館
075-723-4835

京都学・歴彩館では、世界とつながる京都学の研究・交流拠点をめざし、国内外からの幅広いアプローチにより京都文化の普遍的な価値を研究、発信するため、2017年度から、日本研究・京都研究の優秀な海外若手研究者を京都学研究員として招聘しています。

このたび、2019年度の京都学研究員による府民向けセミナーを下記のとおり開催しましたので報告します。

記

- 日 時 2020年2月21日(金) 13時半~15時
- 場 所 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
- 講 師 京都学研究員 クリストファー・ヘイズ/イギリスから招聘
郭珮君(クォ ペイジュン)/台湾から招聘
- 参加者 63名
- 発表内容
 - 発表1 クリストファー・ヘイズ
「京都の外国人観光客の動向-ラグビーワールドカップの影響をめぐって」
 - 発表2 郭珮君(クォ ペイジュン)
「仏教文化交流からみる中世の如法経信仰」

■ セミナーの様子

各講師 30分程度の発表のあと、積極的な質疑応答が行われ、研究者と参加者の交流を図りつつ、京都学の研究内容についての理解を深めた。

■ 参加者コメント(抜粋)

- ・「海外の研究員が様々な視点で京都を分析・研究されていることに喜びを感じます。」
- ・「日本に対する関心・興味を示されていることをうれしく思います。」
- ・「とても良かったです。」「京都在住の者にとって、新鮮で面白い切り口でした。」
- ・「言葉の壁を越えての取組みに感心しました。」
- ・「日本語が大変流暢で驚きました。日本人でも難しい内容を発表されていて、その努力に敬意を表します。」
- ・「大変参考になった。英国人でありながら、上手に日本語でプレゼンされて一生懸命さを感じました。」
- ・「この調査はオリンピック開催に向けてのツーリズムに役立つと思う。」
- ・「ご自身でもインタビュー形式でも、資料作りに尽力されたことが判る。」
- ・「写経という行為の宗教的意味合いがわかった。」
- ・「如法経信仰について初めて知ったので、興味深かった。」
- ・「法華経に関する知識を持っておらず、専門用語等、理解しにくい点もあったが、発表者の真摯な姿勢がうかがえた。民衆の写経の様子等の紹介など、特に興味深かった。」
- ・「天台宗などにも大変関心があります。高度な研究で大変面白く、有意義でした。」

府民向けセミナーの様子



発表1 クリストファー・ヘイズ 氏



発表2 郭 珮君 氏